



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年8月1日

上場会社名 AGC株式会社 上場取引所 東
コード番号 5201 URL <https://www.agc.com/>
代表者 （役職名）代表取締役・社長執行役員 （氏名）平井 良典
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 広報・IR部長 （氏名）玉城 和美 （TEL） 03-3218-5603
半期報告書提出予定日 2025年8月5日 配当支払開始予定日 2025年9月8日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け説明会）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		税引前 中間利益		中間純利益		親会社の所有者に 帰属する中間純利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期中間期	995,474	△1.9	54,022	△4.7	33,751	—	18,357	—	13,905	—	△42,850	—
2024年12月期中間期	1,015,195	3.0	56,690	△11.9	△92,388	—	△106,744	—	△114,500	—	79,314	△50.9

	基本的1株当たり 中間純利益	希薄化後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	65.59	65.48
2024年12月期中間期	△540.26	△540.26

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2025年12月期中間期	2,804,883	1,600,361	1,380,971	49.2
2024年12月期	2,889,665	1,671,697	1,435,787	49.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	105.00	—	105.00	210.00
2025年12月期	—	105.00			
2025年12月期（予想）			—	105.00	210.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益		親会社の所有者に 帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,050,000	△0.9	120,000	△4.6	97,000	—	68,000	—	57,000	—	268.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

(注) 詳細は11ページ「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年12月期中間期	217,434,681株	2024年12月期	217,434,681株
2025年12月期中間期	5,079,912株	2024年12月期	5,156,771株
2025年12月期中間期	211,999,347株	2024年12月期中間期	211,933,883株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足説明資料 (2025年12月期第2四半期業績説明会資料) を作成しており、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結純損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
(要約中間連結純損益計算書)	6
(要約中間連結包括利益計算書)	7
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(重要性がある会計方針)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報)	12
(その他収益及びその他費用)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当中間連結会計期間の業績については、前年同期に比べ、自動車用ガラスは、品種構成の改善や価格政策の効果が発現し、パフォーマンスケミカルズは、販売価格が上昇しました。一方、建築ガラスは、欧州で出荷が減少したことに加え、2024年2月のロシア事業譲渡に伴う減収影響がありました。また、エッセンシャルケミカルズは、販売価格が下落しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、円高に伴う減収影響もあり、前年同期比197億円（1.9%）減の9,955億円となりました。営業利益は、収益改善施策の効果が発現したものの、原燃材料価格上昇等のコスト悪化により、同27億円（4.7%）減の540億円となりました。税引前中間利益は、前年同期にその他費用に計上していたロシア事業譲渡に伴う関係会社株式売却損及びバイオ医薬品CDMO事業の減損損失が剥落したことから、同1,261億円増の338億円（前年同期は924億円の損失）となりました。親会社の所有者に帰属する中間純利益は、同1,284億円増の139億円（前年同期は1,145億円の損失）となりました。

【報告セグメント別の概況】

(億円：千万円単位四捨五入)

	売上高		営業利益	
	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
建築ガラス	2,108	2,247	32	102
オートモーティブ	2,557	2,519	151	106
電子	1,681	1,693	244	200
化学品	2,859	2,904	225	277
ライフサイエンス	635	636	△119	△141
セラミックス・その他	280	424	6	24
消去又は全社	△166	△271	0	0
合計	9,955	10,152	540	567

当中間連結会計期間における各報告セグメントの業績は、以下のとおりです。

① 建築ガラス

欧米では、価格政策の効果はあったものの、欧州で出荷が減少したことに加え、ロシア事業の譲渡や円高に伴う減収影響により、前年同期に比べ減収となりました。アジアでは、インドネシア等での販売価格下落に加え、出荷が減少したことにより、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果から、当中間連結会計期間の建築ガラスの売上高は、前年同期比139億円（6.2%）減の2,108億円となりました。営業利益は、前述の減収要因に加え、原燃材料価格が上昇したことなどにより同69億円（68.2%）減の32億円となりました。

② オートモーティブ

自動車用ガラスは、出荷が欧米で減少したものの日本で増加したことに加え、品種構成の改善や価格政策の効果により、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当中間連結会計期間のオートモーティブの売上高は、前年同期比38億円（1.5%）増の2,557億円となりました。営業利益は、同46億円（43.3%）増の151億円となりました。

③ 電子

ディスプレイは、液晶ディスプレイ用ガラス基板の出荷は増加したもののディスプレイ用特殊ガラスの減少により、売上高は前年同期並みとなりました。電子部材は、EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連部材の出荷の減少に加え、円高の影響もあり、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果から、当中間連結会計期間の電子の売上高は、前年同期比12億円（0.7%）減の1,681億円となりました。営業利益は、収益改善施策の効果等により、同44億円（22.0%）増の244億円となりました。

④ 化学品

エッセンシャルケミカルズは、塩化ビニル樹脂の販売価格が下落したことから、前年同期に比べ減収となりました。パフオーマンスケミカルズは、販売価格の上昇により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果から、当中間連結会計期間の化学品の売上高は、前年同期比46億円(1.6%)減の2,859億円となりました。営業利益は、前述の減収要因に加え、定期設備修繕に伴う製造原価悪化等により、同51億円(18.5%)減の225億円となりました。

⑤ ライフサイエンス

ライフサイエンスは、バイオ医薬品CDMO事業における増設設備稼働開始に伴う出荷増があったものの、前年同期に計上した受託案件精算に伴う一時収入の剥落や米国ボルダー拠点で発生した生産不具合等の減収要因により、売上高は前年同期並みとなりました。

以上の結果から、当中間連結会計期間のライフサイエンスの売上高は、前年同期比1億円(0.1%)減の635億円となりました。営業利益は、バイオ医薬品CDMO事業における固定費削減施策等の効果は発現したものの、前述の減収要因により、同22億円増の119億円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する分析

○資産

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比848億円減の28,049億円となりました。これは主に、有形固定資産及び営業債権が減少したことによるものであります。

○負債

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比134億円減の12,045億円となりました。これは主に、営業債務及び未払法人所得税が減少したことによるものであります。

○資本

当中間連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末比713億円減の16,004億円となりました。これは主に、前期末比で円高になったことにより在外営業活動体の換算差額が減少したことによるものであります。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間末 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	107,988	100,492
営業債権	332,442	310,030
棚卸資産	454,143	457,674
その他の債権	58,221	52,754
未収法人所得税	16,556	6,231
その他の流動資産	25,103	28,939
小計	994,455	956,123
売却目的で保有する資産	6,815	6,603
流動資産合計	1,001,270	962,726
非流動資産		
有形固定資産	1,550,862	1,518,781
のれん	49,774	48,879
無形資産	52,291	52,102
持分法で会計処理されている投資	30,521	32,092
その他の金融資産	68,798	60,765
繰延税金資産	39,019	42,015
その他の非流動資産	97,127	87,519
非流動資産合計	1,888,395	1,842,156
資産合計	2,889,665	2,804,883

(単位: 百万円)

	前連結会計年度末 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間末 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	201,803	195,008
短期有利子負債	129,940	161,568
1年内返済予定の長期有利子負債	109,921	95,510
その他の債務	214,523	221,637
未払法人所得税	21,376	15,432
引当金	1,361	1,620
その他の流動負債	21,183	22,380
小計	700,110	713,159
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	8,661	8,152
流動負債合計	708,771	721,312
非流動負債		
長期有利子負債	409,876	393,714
繰延税金負債	22,865	18,444
退職給付に係る負債	51,370	50,415
引当金	12,883	11,733
その他の非流動負債	12,199	8,902
非流動負債合計	509,196	483,209
負債合計	1,217,967	1,204,521
資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	95,781	95,813
利益剰余金	744,766	737,710
自己株式	△26,767	△26,369
その他の資本の構成要素	531,134	482,943
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,435,787	1,380,971
非支配持分	235,909	219,389
資本合計	1,671,697	1,600,361
負債及び資本合計	2,889,665	2,804,883

(2) 要約中間連結純損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結純損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,015,195	995,474
売上原価	△774,966	△759,571
売上総利益	240,229	235,903
販売費及び一般管理費	△184,444	△183,379
持分法による投資損益	905	1,499
営業利益	56,690	54,022
その他収益	15,222	3,447
その他費用	△162,428	△20,756
事業利益(△は損失)	△90,515	36,712
金融収益	6,926	4,880
金融費用	△8,799	△7,841
金融収益・費用合計	△1,873	△2,960
税引前中間利益(△は損失)	△92,388	33,751
法人所得税費用	△14,356	△15,394
中間純利益(△は純損失)	△106,744	18,357
親会社の所有者に帰属する中間純利益(△は純損失)	△114,500	13,905
非支配持分に帰属する中間純利益	7,755	4,452
1株当たり中間純利益		
基本的1株当たり中間純利益(△は純損失)(円)	△540.26	65.59
希薄化後1株当たり中間純利益(△は純損失)(円)	△540.26	65.48

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益 (△は純損失)	△106,744	18,357
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	18,658	△4,308
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の 純変動	6,043	△425
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△0	△18
純損益に振り替えられることのない項目合計	24,702	△4,752
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,519	△1,584
在外営業活動体の換算差額	159,836	△54,870
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	161,356	△56,455
その他の包括利益(税引後)合計	186,059	△61,207
中間包括利益合計	79,314	△42,850
親会社の所有者に帰属する中間包括利益	53,102	△32,761
非支配持分に帰属する中間包括利益	26,212	△10,088

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	97,056	872,547	△27,338	29,737	25,317
当期変動額						
中間包括利益						
中間純利益(△は純損失)	—	—	△114,500	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	18,479	6,037
中間包括利益合計	—	—	△114,500	—	18,479	6,037
所有者との取引額等						
配当	—	—	△22,278	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△1,252	—	—
自己株式の処分	—	—	△191	1,786	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	5	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	7,306	—	—	△7,306
株式報酬取引	—	△1,281	—	—	—	—
その他企業結合等	—	△5	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,281	△15,163	533	—	△7,306
期末残高	90,873	95,774	742,883	△26,804	48,217	24,049

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△6, 167	365, 053	413, 941	1, 447, 080	207, 258	1, 654, 338
当期変動額						
中間包括利益						
中間純利益(△は純損失)	—	—	—	△114, 500	7, 755	△106, 744
その他の包括利益	1, 693	141, 391	167, 602	167, 602	18, 456	186, 059
中間包括利益合計	1, 693	141, 391	167, 602	53, 102	26, 212	79, 314
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△22, 278	△7, 551	△29, 830
自己株式の取得	—	—	—	△1, 252	—	△1, 252
自己株式の処分	—	—	—	1, 595	—	1, 595
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	5	△25	△19
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△7, 306	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△1, 281	—	△1, 281
その他企業結合等	—	—	—	△5	—	△5
所有者との取引額等合計	—	—	△7, 306	△23, 217	△7, 576	△30, 794
期末残高	△4, 473	506, 445	574, 237	1, 476, 965	225, 893	1, 702, 858

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
期首残高	90,873	95,781	744,766	△26,767	23,921	18,687
当期変動額						
中間包括利益						
中間純利益	—	—	13,905	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△4,725	△446
中間包括利益合計	—	—	13,905	—	△4,725	△446
所有者との取引額等						
配当	—	—	△22,289	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	—
自己株式の処分	—	—	△196	405	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	1,525	—	—	△1,525
株式報酬取引	—	32	—	—	—	—
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	32	△20,960	398	—	△1,525
期末残高	90,873	95,813	737,710	△26,369	19,195	16,715

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	△497	489,023	531,134	1,435,787	235,909	1,671,697
当期変動額						
中間包括利益						
中間純利益	—	—	—	13,905	4,452	18,357
その他の包括利益	△1,591	△39,902	△46,666	△46,666	△14,541	△61,207
中間包括利益合計	△1,591	△39,902	△46,666	△32,761	△10,088	△42,850
所有者との取引額等						
配当	—	—	—	△22,289	△6,431	△28,720
自己株式の取得	—	—	—	△6	—	△6
自己株式の処分	—	—	—	208	—	208
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△1,525	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	32	—	32
その他企業結合等	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△1,525	△22,054	△6,431	△28,485
期末残高	△2,089	449,121	482,943	1,380,971	219,389	1,600,361

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益(△損失)	△92,388	33,751
減価償却費及び償却費	91,528	88,204
減損損失	119,182	8,020
受取利息及び受取配当金	△6,115	△4,830
支払利息	8,417	7,210
持分法による投資損益	△905	△1,499
固定資産除売却損益	1,871	1,089
営業債権の増減額	13,162	15,534
棚卸資産の増減額	△5,670	△9,496
営業債務の増減額	△21,945	△3,450
その他	52,062	3,172
小計	159,199	137,707
利息及び配当金の受取額	7,219	5,114
利息の支払額	△8,767	△7,115
法人所得税の支払額又は還付額	△15,423	△18,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	142,227	117,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△115,527	△91,739
有形固定資産の売却による収入	681	2,969
その他の金融資産の取得による支出	△384	△292
その他の金融資産の売却及び償還による収入	15,716	3,538
関係会社又はその他の事業の売却による収入	22,121	—
その他	△851	△2,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,243	△87,726
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の増減	△18,088	30,384
長期有利子負債の借入及び発行による収入	15,467	34,694
長期有利子負債の返済及び償還による支出	△74,361	△70,783
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△12	—
非支配持分からの払込みによる収入	263	244
自己株式の取得による支出	△1,252	△6
配当金の支払額	△22,278	△22,289
非支配持分への配当金の支払額	△7,815	△6,092
その他	855	76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,222	△33,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,832	△3,039
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物の増減額	△781	△98
現金及び現金同等物の増減額	△37,187	△7,495
現金及び現金同等物の期首残高	146,061	107,988
現金及び現金同等物の中間期末残高	108,874	100,492

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの要約中間連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

(重要性がある会計方針)

要約中間連結純損益計算書における「営業利益」は、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する指標であります。「その他収益」及び「その他費用」の主な内訳には、為替差損益、固定資産売却益、固定資産除却損、減損損失、事業構造改善費用などがあります。「事業利益」には、金融収益・費用及び法人所得税費用を除いた全ての収益・費用が含まれております。

なお、当中間連結会計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(会計上の見積りの変更)

当社グループの要約中間連結財務諸表の作成において、資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を設定しております。そのため、会計上の見積りと実績は異なることがあります。

当社グループの要約中間連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積り及び仮定は、下記(減損損失)に記載している事項を除き、原則として前連結会計年度と同様であります。

見積り及びその仮定は継続して見直しております。これらの見積り及び仮定の見直しによる影響は、その見積り及び仮定を見直した会計期間及びそれ以降の会計期間において認識しております。

(減損損失)

当中間連結会計期間において、ライフサイエンスセグメントに含まれているバイオ医薬品原薬の開発製造の受託を営むAGC Biologics, Inc. (所在国 米国) については、将来の受注見通し及び稼働見込みの大幅な減少などが生じ、コロラド州ボルダー拠点および同州ロングモント拠点からの撤退を決定したことから、当該有形固定資産及び無形資産が属する資金生成単位を区分し、その結果、一部の資金生成単位に減損の兆候が認められました。減損テストを実施した結果、処分コスト控除後の公正価値を基礎とした回収可能価額が資金生成単位の帳簿価額を下回ったことから、7,724百万円の減損損失を認識しております。処分コスト控除後の公正価値の評価においては、主にマーケット・アプローチ及びコスト・アプローチの手法を用いており、第三者による評価額等の観察不能なインプットを含むため、公正価値のヒエラルキーはレベル3であります。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、製品・サービス別に、「建築ガラス 欧米」「建築ガラス アジア」「オートモーティブ」「電子」「化学品」「ライフサイエンス」の6カンパニーを置き、各カンパニーは、取扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、グローバルに事業活動を展開しております。

また、「建築ガラス 欧米」、「建築ガラス アジア」カンパニーについては、フロート及び建築加工に係る技術開発や生産に関する情報の共有、気候変動問題に対するGHG削減や製品貢献等の社会的価値創出及び長期的な収益指標等への共通の取り組みを、建築用ガラス事業一体となって進めていること、また、製品及び販売市場の類似性等から、経済的特徴を共有していると判断しております。

以上より、当社グループは、「建築ガラス」「オートモーティブ」「電子」「化学品」「ライフサイエンス」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品等の種類は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品等
建築ガラス	建築用板ガラス、建築用加工ガラス（複層ガラス、強化ガラス、合わせガラス）
オートモーティブ	自動車用ガラス、車載ディスプレイ用カバーガラス
電子	・ディスプレイ - 液晶/有機ELディスプレイ用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス ・電子部材 - 半導体関連部材、光学関連部材
化学品	・エッセンシャルケミカルズ - 苛性ソーダ、塩化ビニル樹脂、ウレタン原料 ・パフォーマンスケミカルズ - フッ素製品（樹脂、ガス、溶剤）、ヨウ素製品
ライフサイエンス	合成医農薬開発製造受託、バイオ医薬品開発製造受託、医農薬中間体・原体

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					セラミックス・その他	合計	調整額	要約中間連結純損益計算書計上額
	建築 ガラス	オート モーティブ	電子	化学品	ライフ サイエンス				
外部顧客への売上高	223,470	251,785	168,620	288,558	61,647	21,112	1,015,195	—	1,015,195
セグメント間の売上高	1,222	79	675	1,863	1,956	21,257	27,054	△27,054	—
計	224,692	251,864	169,295	290,422	63,604	42,370	1,042,249	△27,054	1,015,195
セグメント利益又は損失(営業利益)	10,163	10,551	20,019	27,663	△14,115	2,374	56,656	33	56,690
中間純利益(△は純損失)	—	—	—	—	—	—	—	—	△106,744

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					セラミックス・その他	合計	調整額	要約中間連結純損益計算書計上額
	建築 ガラス	オート モーティブ	電子	化学品	ライフ サイエンス				
外部顧客への売上高	209,447	255,572	167,249	283,698	61,694	17,811	995,474	—	995,474
セグメント間の売上高	1,394	112	888	2,167	1,816	10,213	16,593	△16,593	—
計	210,842	255,684	168,138	285,866	63,510	28,025	1,012,068	△16,593	995,474
セグメント利益又は損失(営業利益)	3,236	15,119	24,424	22,543	△11,927	590	53,986	35	54,022
中間純利益	—	—	—	—	—	—	—	—	18,357

セグメント間の取引の価格は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

「セラミックス・その他」では、セラミックス製品、物流・金融サービス等を扱っております。

(その他収益及びその他費用)

その他収益

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
為替差益	12,867	—
固定資産売却益	—	1,764
その他	2,355	1,682
その他収益合計	15,222	3,447

その他費用

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
為替差損	—	△6,069
固定資産除却損	△1,731	△2,854
減損損失	△119,182	△8,020
事業構造改善費用	△1,269	△2,579
関係会社株式売却損	△36,482	—
その他	△3,762	△1,233
その他費用合計	△162,428	△20,756

当中間連結会計期間の減損損失の主な内容は、(会計上の見積りの変更)に記載のとおりであります。

前中間連結会計期間の減損損失には、ライフサイエンスセグメントに含まれているバイオ医薬品原薬及び遺伝子・細胞治療医薬品の開発製造の受託を営むAGC Biologics, Inc. (所在国 米国)の減損損失70,410百万円、AGC Biologics, A/S (所在国 デンマーク)の減損損失28,904百万円及びAGC Biologics, S. p. A. (所在国 イタリア)の減損損失18,980百万円が含まれております。

前中間連結会計期間の関係会社株式売却損には、ロシア事業の譲渡による売却損35,999百万円が含まれております。なお、当該関係会社株式売却損は、主として在外営業活動体の換算差額の組替調整によるものであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。